

# 新年号

# 酪農とちぎ



冬の富士山と樹氷

- 1 ページ 表紙
- 2 ページ 組合長挨拶
- 3 ページ 栃木県知事挨拶
- 4 ページ 青年部本部長挨拶、女性会会長挨拶
- 5 ページ 部課だより（生乳受託課）
- 6～7 ページ 令和5年度農事功績者表彰、東西南北
- 8 ページ 理事会だより、市場成績



MILK JAPAN



# 新年の挨拶

酪農とちぎ農業協同組合

代表理事組合長 白井 勉



組合員ならびにご家族の皆様方におかれましては、輝かしい新春を迎えられたことと謹んでお慶び申し上げます。

旧年中は、弊組合の事業全般に對しまして、特段のご理解ご協力を賜りましたことに心から感謝とお礼を申し上げます。

さて、今年の干支は「甲辰（きのえ・たつ）」と言ひ、この二字は「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」という縁起の良さを表しているそうです。飼料高騰等により厳しい状況が続く

酪農現場に吉報が届き、やがて活力が旺盛になっていく潮目の年であることを切に願う所であります。

酪農経営をめぐる情勢は、昨年4月からの学乳・加工向け10円/kg値上げ、8月からの飲用・発酵乳向け10円/kg値上げ、12月からのバター・生クリーム向け6円/kg値上げ等により収支の改善は進んでいますが、肉用子牛価格が大幅に低迷しており、依然として酪農廃業に拍車がかかっている状況です。

直近の生乳需給動向は、生産抑制、猛暑の影響、廃業の増加等による生乳生産の減少により、全体として需給均衡に向かってはいるものの、年末年始の余乳処理は予断を許さない状況にあります。そして、その先を見越すと、初妊牛

の減少で需給ひっ迫の可能性まで懸念されています。引き続き、関東生乳販連と連携協調した対応を図り、牛乳・乳製品の消費拡大を推進し、生乳生産基盤の維持強化に努めてまいります。

組合は、酪農経営の収益低下の中、粗飼料高騰に対する追加支援と不需要期乳価を下支えるため、令和5年度酪農経営安定緊急対策として、「粗飼料高騰対策助成金（トンあたり3,000円、4月～9月）」と「乳価安定対策助成金（1.5円/kg、12月～3月）」の支払いと、「配合飼料等特別奨励金（トンあたり1,000円、7月～9月）」の支払いを理事会決議し支援対策を講じました。今後も、生産者個々の自助努力で対応が困難な状況をふまえながら支援対策の実施に努め、国・県等に対し支援拡充を要請してまいります。

なお、組合は、昨年の通常総会での役員改選をふまえ、昨年11月より新たなメンバーで役員定数等検討協議会の検討を始めました。協議会の答申では、出荷者が

300戸を下回る状況で再検討する内容でしたので、地域の意見を集約しながら理事定数や地域再編について方向付けしてまいります。現在、組合は、第7期となる中期3カ年構想（令和6年度～8年度）について協議しており、関東生乳販連でも、関東地域の酪農組織再編について検討が始まりました。さらなる経営の効率化を図り、生乳流通体制の合理化を推進するため、あらゆる角度から求められる酪農組織を追求していくことが重要な課題となっています。

いずれにしましても、組合の中期構想に掲げた「多様な酪農の成長を支え、持続可能な酪農を目指す」の基本方針のもと、事業計画の達成に向け、役員一丸となって組合運営に取り組んでまいります。

今後とも、組合運営に對しましてご理解ご協力をお願いするとともに、ご家族皆様のご健勝ご多幸をご祈念申し上げ新年の挨拶いたします。

令和6年 元旦



# 新年知事あいさつ

栃木県知事 福田 富一



酪農とちぎ農業協同組合の組合員、役職員の皆様、あけましておめでとうございます。

旧年中は、本県農政の推進に御支援いただき感謝申し上げます。本年も引き続き、よろしく願いいたします。

さて、本県の畜産は、環境との調和を図りながら、家畜の生産性向上や自給飼料の生産拡大等により、農業産出額の約5割を占める基幹的な部門にまで成長し、24年連続で生乳生産量本州第1位を誇るなど、全国でも有数の畜産県と

なっております。

しかし、昨今の不安定な国際情勢などによって、飼料や生産資材等の価格高騰や牛乳の消費低迷が続いており、酪農経営は大変厳しい状況に直面しております。

このような中、県では、「ミルクの国とちぎ」の持続的な発展を図るため、緊急対策として、配合飼料・粗飼料の購入及び自給飼料の生産に係る負担軽減の支援を行って参りました。引き続き、生産現場の状況を的確に把握しながら必要な対策を講じるとともに、情勢変化の影響を受けにくい経営への転換を図るため、耕畜連携の推進や飼料生産組織の育成による自給飼料の更なる増産や、ICT機器を活用したスマート技術の導入による低コスト生産等を進めて参ります。

また、牛乳の消費拡大に向けては、昨年「栃木県民牛乳消費拡大月間」を制定し、12月には「とちぎ☆冬ミルクプレゼントキャンペーン」等を実施してきたところであり、今後とも、関係団体と一丸となって、酪農・牛乳の魅力発信や、次代を担う人材の確保・育成などに全力で取り組んで参ります。

併せて、全国各地で高病原性鳥インフルエンザや豚熱の発生が続いていることから、家畜伝染病の発生及びまん延防止に向けた総合的な家畜衛生対策を推進して参りますので、組合員の皆様におかれましては、自身の経営と地域の畜産を守るため、飼養衛生管理基準の遵守徹底等、改めて適切な対応をお願いいたします。

時代が大きく変化する今、その潮流をしっかりと捉え、多様なニーズに対応しながら、未来志向で「新しいとちぎ」づくりに取り組んで参りますので、皆様のより一層の御理解と御協力をお願いいたします。

本年が皆様にとって素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。

令和6年 元旦



## 新年の挨拶

青年部本部長 永嶋俊太郎



新年明けましておめでとうござ  
います。皆様におかれましては、  
益々のご活躍のこととお慶び申し  
上げます。部員の皆様、組合役職  
員の皆様には青年部活動に対し、  
格段のご協力とご指導を賜り、こ  
の場をお借りして厚く御礼申し上  
げます。

昨年を振り返りますと、8月に  
乳価が上がり、子牛販売価格は低  
迷しており、飼料価格や電気料金  
等の高騰により生産コストは高止  
まりしている状況です。また、生  
乳需給に関しても消費喚起すべく  
消費者へ牛乳ならびに酪農の現状  
や魅力を伝える活動の重要性はま  
すます高まっているといえます。  
このような状況下、青年部の活

動として4年ぶりにソフトボール  
大会を開催し、久しぶりの顔合わ  
せや一部の支部において合同で事  
業を行うなど、意義のあるコミュ  
ニケーションの場を提供できたと思  
います。また、消費者との懸け  
橋となり得る搾乳体験もより多く  
の支部に実施して頂きました。今  
後も、1月にボウリング大会、2  
月には哺育育成管理に関する研修  
会を予定しております。子牛に関  
する知識を少しでも取り入れ、後  
継牛のレベルアップ、子牛販売価  
格の安定化を図って頂けたら幸い  
と存じます。

さて、昨年はアフターコロナへ  
の転換もあり、地域の青年部活動  
が少しずつ再開されていると思  
います。まだまだ厳しい情勢が続く  
ことが予想されますが、酪農とい  
う素晴らしい産業を守り続けてい  
くのは、私たちの世代であります  
ので、今後も様々な活動を通して  
皆様の士気が高く維持されること  
を願っております。

最後になりましたが、皆様の  
益々のご発展とご多幸をご祈念申  
し上げ、新年のご挨拶といたしま  
す。

## 新年の挨拶

女性会会長 興野 礼子



あけましておめでとうございま  
す。皆様におかれましては、健や  
かに新春を迎えられたこととお慶  
び申し上げます。また、女性会会  
員の皆様、組合役職員の皆様には  
日頃より女性会活動に対しまして  
格別のご支援を賜り厚く御礼申し  
上げます。

酪農を取り巻く環境は、資材や  
飼料の高騰に円安が拍車をかけ、  
経営環境は依然として厳しい状況  
にあります。しかしながら私達女  
性会は、積極的に活動し大きな成  
長の可能性を広げております。

12月7日に女性会全体研修会を  
4年ぶりにホテルエピナル那須  
で開催いたしました。研修会では、  
栃木県福田知事の夫人喜江子様  
と、後援会役員の前澤文子様によ

るトークショーを行いました。約  
80名の出席者の皆様からは、普段  
の知事の様子や、夫人との和やか  
な様子を垣間見ることができ、大  
変良かったとお褒めの言葉をいた  
だき、大盛況のうちに終了するこ  
とができました。

6月の牛乳月間では、栃木県酪  
農青年女性会議で、栃木県知事室  
を表敬訪問し県内産牛乳を贈呈、  
県民への牛乳消費拡大活動の協力  
をお願いしました。また、道の駅  
しもつけ・道の駅与一の郷で牛乳  
のPRパンフレットやグッズ、牛  
乳を配布するなどし、コロナ禍以  
前の活動を行うことができました。  
また、女性会支部活動においても、  
スーパーマーケットでの牛乳PR  
活動や研修会等を行いました。

また、7月13日に北海道で酪友  
フォーラムが開催されました。全  
国からたくさんの方々が集まり素  
晴らしいフォーラムとなりました。  
これからも女性会は、精力的に  
活動していきたいと思っております  
ので、本年度も皆様のご支援ご  
協力を賜りますようお願い申し上  
げます。

最後になりましたが、皆様の  
益々のご発展とご多幸をご祈念申  
し上げ新年のご挨拶といたします。



# 部課だより

## 生乳受託課

令和5年11月度の組合生乳生産量は、19,937t（前年比97.3%）となりました。各支所の受入乳量は、那須高原支所14,148t（前年比97.7%）、宇都宮支所5,788t（同96.4%）、となり、出荷者数は前年同月より20戸減の312戸（内、学校1）となりました。

11月度の組合平均乳質は、脂肪率4.00%（前年差+0.07%）、無脂固形分率8.90%（同+0.02%）と乳成分は上がり、体細胞数については19.35万（同+0.26万）の成績となりました。

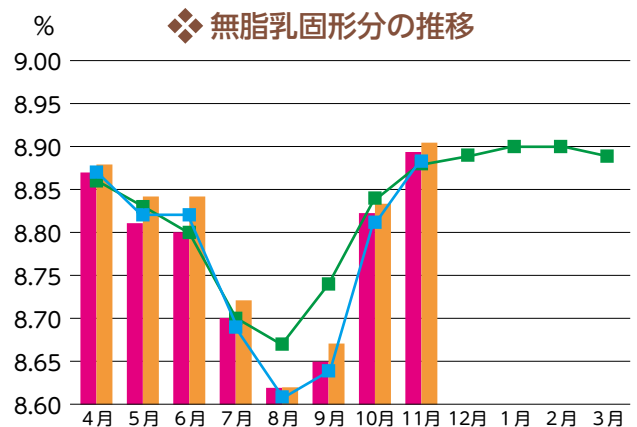
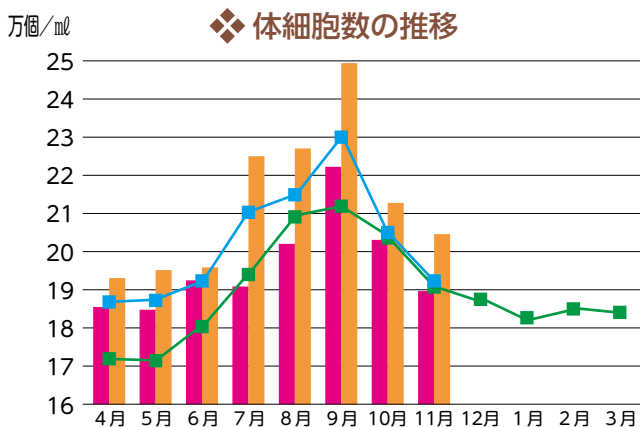
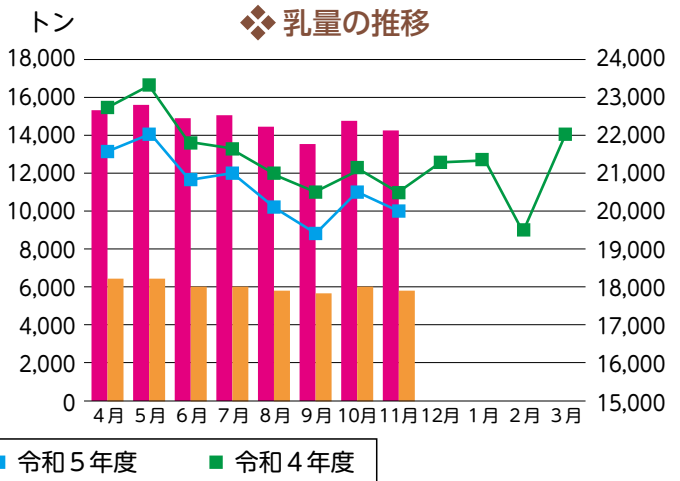
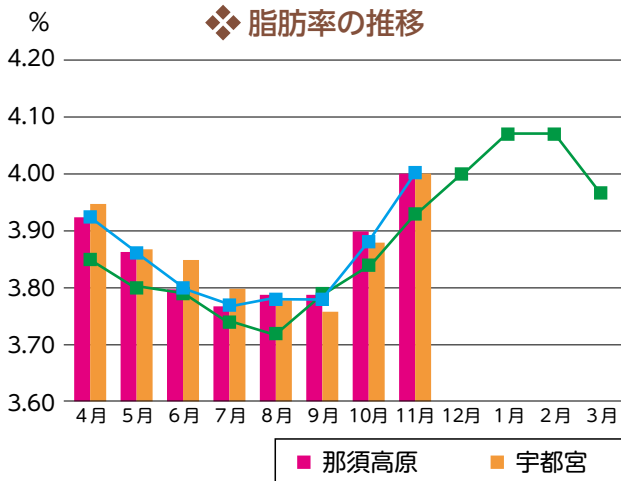
関東生乳販連の11月の総受託乳量は81,182t（前年比97.3%）となり、前年を下回る状況となっております。用途別販売数量を見ると、乳価値上げに伴い心配された、飲用向けの減少幅は前年比98.8%となったほか、脱粉・バター等向けが前年比72.1%、チーズ向けが88.7%と前年を下回りました。

令和5年度 関東生乳販連用途別販売数量 (単位: kg・%)

用途	11月期実績	前年同期実績	前年比	11月末実績(累計)	前年同期実績	前年比
飲用牛乳向け	64,656,738	65,595,631	98.6	515,666,125	530,279,915	97.2
(うち学校を除く飲用)	53,127,425	53,795,836	98.8	439,101,729	453,464,384	96.8
(うち学校向け)	11,529,313	11,799,795	97.7	76,564,396	76,815,531	99.7
はっ酵乳向け	11,434,054	11,179,532	102.3	93,810,260	96,592,293	97.1
脱粉・バター等向け	3,961,225	5,492,041	72.1	52,445,922	64,696,636	81.1
生クリーム等向け	1,010,295	1,004,624	100.6	8,047,461	8,403,559	95.8
チーズ向け	120,132	135,476	88.7	944,998	964,164	98.0
総受託乳量	81,182,444	83,407,304	97.3	670,914,766	700,936,567	95.7
脱粉・バター等向け比率	4.88	6.58	-	7.82	9.23	-

全国の生産量は96.3%と16ヶ月連続で前年を下回りました。内訳は北海道が前年比96.8%、都府県が95.7%の前年比となっております。

なお、令和5年11月度の生産量・乳質、及び関東生乳販連の用途別販売数量は別表の通りです。



# 令和5年度

## 農事功績者表彰

11月15日に東京都の赤坂インターシテイAIRにて「令和5年度農事功績者表彰式」が開かれました。公益社団法人大日本農会が主催で、63名が表彰され、内5名が酪農関係者でした。

その中で当組合より今耕一氏（那須町）が紫白綬有功章、興野礼子氏・興野一美氏（那須烏山市）が緑白綬有功章を受章されました。



左から興野礼子氏、興野一美氏、臼井組会長、今耕一氏

秋篠宮皇嗣殿下が大日本農会の

総裁を務められており、農事功績

者表彰は優れた農事改良の奨励・

実行を行った方々が受章され、明

治27年以来107回目の開催とな

るそうです。

受章された方々におかれましては、大変おめでとうございます。

# 東西南北

## 那須高原支所

今年も地元酪農家が全面協力！

搾乳体験車で乳搾り&

バター作り体験実施！

11月24日、青年部黒磯支部青木

地区の活動において、那須塩原市

の小針勤牧場協

力の下、那須塩

原市立青木小学

校3年生をお招

きして乳搾り体

験とバター作り

体験を実施しま



した。この行

事は、地域の

基幹産業の一

つである酪農

を学ぶ場とし

て毎年開催さ

れており、既

に10年以上継

続して頂いています。

今回も、始めに牧場主の小針さ

んの案内で場内を見学しました。

かわいいう哺育牛から、迫力ある搾

乳牛までを目の当たりにし、子供

達は終始、牛に目が釘付けでした。

乳搾り体験では、1人ずつ順番

に搾って頂いています。すぐにコ

ツを掴んで上手に搾れる子もいれ

ば、怖がってなかなか近寄れない

子もあり、反応は十人十色でした

が、子供達はみんな牛に興味津々

で楽しんでる様子でした。

バター作り体験では、生クリー

ム入りのカップを1人1人に配り

作って頂きました。出来たバター

はクラッカーに付けて、牛乳も飲

みながら美味しく味わって頂き、

とても喜ばれました。



最後は、児童の皆さんにミルク

ジャパングッズをプレゼントして

終了しました。

今年も子供達には楽しい思い出

を作って頂く事が出来たと思いま

す。そして今回の体験をきっかけ

に、酪農について理解を深め、国

産牛乳・乳製品の消費拡大の一助

になったことと思います。ご多忙

の中、ご対応頂いた青年部員の皆

様に心より感謝申し上げます。

## 田代友愛小学校搾乳体験

11月22日、那須町立田代友愛小学校にて搾乳体験を行いました。

1・2年生約50名を対象に、那

須町の伊藤高行牧場を中心とし、

高久地区の酪農家や青年部那須支

部の酪農家に加え、森久保薬品、

日本全薬、日本農産、神保那須の

関係業者の方々にもご協

力いただき、

関東生乳販連

よりお借りし

た搾乳体験車

での搾乳体



験、さらに子牛とのふれあいコーナーやバターづくり体験の場も設け、賑やかな体験となりました。

子供たちも、地域に馴染みのある牛や酪農家に興味津々で、昼休みにはたくさん生徒が体験や牛との触れ合いに来てくれました。

さらに、トラクターや、ロールサイレージも持っていき、興味のある生徒にはトラクターの中の見学や、ロールに自由にお絵描きしてもらうなど酪農に関する色々な形で触れて楽しんでもらうことができました。

また、牛乳普及協会より保冷バッグと牛乳普及促進の為にグッズの配布も行い、牛乳消費のPRも重ねて行うことができました。

この田代友愛小学校での搾乳体験は今回が初めてのことでしたが、今後もこのような場を設けていくことで、地域の子供たちへの食育とし



ただでなく、酪農家側も協力して活動できる機会として、続けていければと思います。

ご協力いただいた学校側の皆様や酪農家、関係業者の皆様には多大な感謝を申し上げます。

## 宇都宮支所

### 全体交流会開催

12月9日、支所活動推進協議会（木村康彦会長）主催の全体交流会を宇都宮支所において開催しました。組合員や家族・従業員及び関係業者の方々等、総勢110名が親睦を深められました。天候にも恵まれ、参加者の準備協力も得ながら、無事開催する事が出来ました。

木村会長の挨拶に続き、臼井組合長から酪農情勢について報告を



頂きました。その後はパーベキューと抽選会で、大いに盛り上がりました。また、子供たちを対



象としたお菓子のつかみ取りでは、両手いっぱいにお菓子を抱えて喜んでいる子供たちのたくさん笑顔に癒されました。

小春日和の暖かな日差しの中、参加された皆さんは、明日への活力に繋がる有意義なひとときとなったことと思います。

### 第三者継承による新規就農

12月6日、(有)柳牧場（益子町）と相澤宗明さん・緒美さん夫妻による経営継承合意書の締結が行われました。これによって、1月1日より相澤さんが新規就農することになります。

柳文男さんより経営移譲を受けた相澤さんは「柳さんと出会って1年半でここまでたどり着けたのは、振興事務所・町役場・酪農とちぎ・公庫・税理士事務所等の関係機関の支援、そして何より柳さ

んご家族の全面的なご理解・ご協力によるものです。今日がゴールではなく、ここからがスタートであり、皆さんの期待に応えられる牧場となれるよう頑張ります」と胸を膨らませました。

また柳さんより、「相澤さん夫妻に牧場を継承してもらえたことを家族みんなで喜んでいきます。これから、他の模範となれるよう牧場を盛り上げて欲しい」と期待を述べられました。

酪農とちぎとしても、引き続き支援していきたいと思えます。なお、第三者継承等について興味のある方は、所轄支所や振興事務所等にお問い合わせください。



相澤宗明氏(左)、柳文男氏(右)



# 理事会だより

## 8月度理事会（8月31日）

### 報告事項

- 1 業務経過報告について
- 2 組合資金貸付について
- 3 組合プール乳価について
- 4 生乳生産管理チェックシート  
記帳・記録状況について
- 5 株式会社明治との包括連携に  
関わる協定書の締結について
- 6 関東生乳販連情報について

### 協議事項

- 1 7月度事業実績について
- 2 賞罰規程の一部改正について

## 9月度理事会（9月29日）

### 報告事項

- 1 業務経過報告について
- 2 組合資金貸付について
- 3 組合プール乳価について
- 4 関東生乳販連情報について

### 協議事項

- 1 8月度事業実績について

- 2 固定資産の取得について

## 10月度理事会（10月31日）

### 報告事項

- 1 業務経過報告について
- 2 組合資金貸付について
- 3 組合プール乳価について
- 4 特別管理未収金の報告について
- 5 子会社の上半期事業実績につ  
いて
- 6 関東生乳販連情報について

### 協議事項

- 1 9月度及び上半期事業実績に  
ついて
- 2 役員定数等検討協議会について
- 3 固定資産の取得について

## 11月度理事会（11月30日）

### 報告事項

- 1 組合員の加入について
- 2 業務経過報告について
- 3 組合資金貸付について
- 4 組合プール乳価について
- 5 関東生乳販連情報について

### 協議事項

- 1 10月度事業実績について

- 2 令和5年度酪農経営安定緊急  
対策（案）について
- 3 令和5年度組合購買利用推進  
女性研修会の中止と代替案につ  
いて

### 報告事項

- 4 令和5年度配合飼料等特別奨  
励措置（案）について
- 5 固定資産の取得について
- 6 年末手当の支給について

### 報告事項

- 1 組合員の加入について
- 2 業務経過報告について
- 3 組合資金貸付について
- 4 年末手当の支給について
- 5 組合プール乳価について
- 6 生乳生産管理チェックシート  
記帳・記録状況について
- 7 関東生乳販連情報について

### 協議事項

- 1 11月度事業実績について
- 2 第23回酪農まつりについて
- 3 組合と理事との契約について
- 4 インボイス対応に係る業務シ  
ステムの修正について

## 12月度理事会（12月28日）

### 11月度 ホクレン初妊牛市場成績（単位：千円（税込））

市場名	開催日	出場頭数	成立頭数	取引率	平均価格	（そのうちET牛）		
						出場頭数	成立頭数	平均価格
根室	11月2日	395	347	87.8%	465	80	69	545
豊富	11月10日	382	329	86.1%	408	11	9	421
十勝	11月13日	668	616	92.2%	471	139	120	579
北見	11月27日	419	368	87.8%	403	31	27	518
十勝	11月28日	602	497	82.6%	454	139	101	563
釧路	11月29日	346	289	83.5%	427	55	45	547
根室	11月30日	420	366	87.1%	468	124	95	552
合計		3,232	2,812	87.0%	442	579	466	532
前月		2,752	2,345	85.2%	424	418	333	537
前年同月		2,971	2,566	86.4%	443	401	345	643

12月の初妊牛動向といたしまして、2月～3月中心の分娩となりますが、猛暑の影響で春分娩も例年に比べ資源不足が見込まれます。各地域、徐々に相場も上がってきているため、春分娩が中心となる年明けから価格が大きく跳ね上がる可能性もあります。このような状況のため導入を希望される方は、余裕をもったご注文をよろしくお願い申し上げます。

### 11月度 県内家畜市場成績（単位：円（税込））

市場名	種別	出場頭数	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均
那須	F1雄	198	195	69	172,700	3,300	92,626
	F1雌	175	169	64	176,000	220	62,811
	ホルズ雄	97	97	66	114,400	440	68,663

今回の初生牛相場は前号に報告した6月の平均価格と比較しますとホルズ雄は8月を底に、F1雄とF1雌は10月を底に徐々に強含みに転じています。このことから例年冬から春先にかけて価格は下落傾向をとることが多いですが、今後は注視して価格を見守る必要があると考えられます。